

2011年度推薦入学選考（11月17日実施）

国語分野問題

（〈国1〉ページ～〈国10〉ページ）

※2012年度入試より、推薦入試で実施される「基礎テスト」の国語分野の出題範囲は「国語総合・現代文（古文・漢文を除く）」と変更になりましたので、ご注意ください。

I 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

からごころを清くはなれて、もはら古いにしへのこころ詞ことばをたづぬる学問は、わが県居大人あがためのうしよりぞはじまりける。この大人の学うしの、いまだおこらざりしほどの世(1)の学問は、歌もただ古今集よりこなたにのみとどまりて、万葉などは、ただいとものどほく、心も及ばぬものとして、さら(2)にその歌のよきあしきを思ひ、ふるきちかきをわきまへ、またその詞を、今のおのものとつつかふことなどは、すべて思ひも及ばざりしことなるを、今はその古言をおのがものとして、万葉ぶりの歌をもよみいで、古ぶりの文などをさへ、かきうることとなれるは、もはらこの大人のをしへのいさをにぞありける。今の人は、ただおのれみづから得たるごとと思ふめれど、みなこの大人の御蔭みかげによらずといふことなし。また古事記書紀などの、古いにしへののみかみ典ひらをうかがふにも、からごころに惑はされず、まづもはら古言を明らめ、古意(4)によるべきことを、人みなしれるも、この大人の、万葉のをしへのみたま注2にぞありける。そもそもかかる尊たふたき道を、ひらきそめられたるいそしみは、よにいみじきものなりかし。

(出典 本居宣長『玉勝間』)

注1 県居大人 賀茂真淵

注2 みたま 恩恵

問1 ~~~~~線「られ」の文法的意味として、最も適当なものを、次の中から選び、番号をマークしなさい。

- ① 受身
- ② 自発
- ③ 可能
- ④ 尊敬

ア

問2 ———線(1)「世」、————線(2)「さらに」の意味として、最も適当なものを、それぞれ次の中から一つ選び、番号をマークしなさい。

- | | | | | |
|-----------|-------|--------|--------|-------|
| (1) 「世」 | ① 寿命 | ② 治世 | ③ 世間 | ④ 時代 |
| (2) 「さらに」 | ① 加えて | ② ますます | ③ まったく | ④ 今さら |

ウ

イ

問3 ———線(3)「ふるさちかきをわきまへ」の解釈として、最も適当なものを、次の中から選び、番号をマークしなさい。

エ

- ① 一時代前の歌風に忠実に従い
- ② 時代の古いこと、新しいことを見わけ
- ③ 年代や歌の詠まれた場所を踏まえ
- ④ 歌が詠まれた場所の遠近を調べあげ

問4 ———線(4)「古言を明らかめ、古意によるべきこと」の解釈として最も適当なものを、次の中から選び、番号をマークしなさい。

オ

- ① 古来の伝承の意味を明らかにし、その精神に従うべきであるということ
- ② 古人のことばの典拠を明らかにし、それに従ってことばを用いるべきであるということ
- ③ 古の聖人の考えを明らかにし、その遺志を受け継ぐべきであるということ
- ④ 古語の意味を明らかにし、当時の考えにもとづくべきであるということ

問5 本文の内容に合うものを、次の中から一つ選び、番号をマークしなさい。

カ

- ① 最近の人は自らの力によって万葉調の歌を作っていると思っっている。
- ② 県居大人以前の学問の対象は古今集以前の文学作品にとどまっていた。
- ③ 古事記や日本書紀を読むときには中国の貢献に感謝しなければならない。
- ④ 万葉集こそが日本人の心の姿を映し出す鏡のようなものである。

Ⅱ 次の文章は、ヨーロッパで始まった近代的な団体観光旅行について述べたものである。この文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

団体海外観光旅行が大きな成功をおさめた背景には、一九世紀末から二〇世紀初頭のイギリスや西ヨーロッパの繁栄、その一環として中産階級に生じた経済的・時間的余裕という社会経済的条件があることは明らかである。中産階級の経済的・時間的余裕は、新たなサービス産業の市場となり、さらなる消費の経済を拡大していった。機械生産された平準的商品が消費されるようになり、これまで個人の善意や主婦の家庭内労働にもとづいていたさまざまなサービスが経済化され産業化されていったのである。観光旅行と観光旅行者の成立もそのひとつである。

注¹ トマス・クックが作りだした団体観光旅行の成功は、彼のアイデアの卓拔さだけではなく、当時の社会の趨勢の一表現であった。彼の旅行は、旅行者を旅行につきものさまざまな面倒や危険から解放した。クックの旅行団に参加すれば、煩わしい切符やホテルの手配に悩む必要はない。

A、鉄道や客船の割安なサービスを受けられるし、相応なホテルの部屋が行く先々で用意されているのである。しかも、ガイドに従って団体行動していれば、泥棒やごまのはいなどの不愉快な出来事にあつて、せっかくの旅を台無しにされる危険は少ない。クック社のクーポン券やサーキュラーノート(トラベラーズチェックの前身)を利用すれば、多くの現金を所持してびくびくしなければならぬこともない。(①)

トマス・クックは、もともと禁酒運動家の善意として旅行の手配をしていたのだが、それを経済化して旅の苦勞・面倒を専門に請け負うようになり、それを B として企業化した。旅行(Travel)は、もともと苦痛・労苦(= travail)と同じ語原だったといわれるが、トマス・クックは、まさに旅の労苦を企業化したのである。

労苦から解放された旅行客は、気楽に観光を楽しむことができるようになった。しかし、トマス・クックが提供したのは、それだけではなかった。(②) 地中海のリゾートに行けば、青い海を前にした白い砂浜にビーチパラソルが用意されていたし、エジプトに行けば、砂漠のなかのピラミッドを見物し、らくだに乗ることができた。すべてが広告や雑誌、パンフレットで前もって見たとおりであり、旅行者が、カバン一杯につめこんだ観光地への大きな期待は裏切られることはなかったのである。

しかも、見知らぬ土地での観光への大きな期待や憧れは、もともとクック社の雑誌・パンフレットが作りだし、煽っていたものである。むろん、クック社の雑誌だけが、そうした役割を果たしたわけではなく、さまざまなメディアが異郷への憧れを作っており、クック社の

広告はまだそれに火をつけ、具体化しただけかもしれない。それにしても、観光への期待はあらかじめ作られており、旅行はその期待を期待通り実現し、満足を与えるものになった。たいていの観光客は、予想外な出来事には喜ばず、予想したとおりの観光地を見て喜ぶのである。(3) 旅行業者は、旅行の労苦を代行し企業化するだけでなく、旅行への期待を励起させ、その通りに実現してみせる、いわば旅行への期待をも企業化していったのである。

トマス・クック以後、次々西ヨーロッパやアメリカに旅行業者が出現し、ガイド付きの団体観光旅行はありふれたものになっていった。観光旅行の **C** が実現したのである。時間と財産をたっぷり持ったごく一部の特権的な人々に限られていた旅行が、広く一般の人々まで可能となり、時には海外にまで出かけ異文化を直接体験するというのは、大きな社会的文化的意味をもった現象である。

こうしたガイド付き団体観光旅行は、たんに旅行を **C** したのではなく、旅行そのものを変質させたとするのが、アメリカのマスメディア研究者・歴史家のブーアスティンである。彼は、今や能動的に行動する旅行者は没落し、受け身でおもしろいことが起こるのを待っている観光客が台頭し、旅行は観光という疑似イベントとなったと説く。彼のいう疑似イベントとは、「自然発生的ではなく、誰かがそれを計画し、たくらみ、あるいは扇動したために起こるもの」、「報道され、**D** されるという直接の目的のために仕組まれたもの」である。したがって、「現実に対する関係は曖昧」であり、「自己実現の予言としてくわだてられるのがつねである」。ある種の思いこみや決めつけが、それにもとづいた行動を引き起こし、その結果として現実となってしまうのが、自己実現の予言で、大ヒット映画であるという勝手な宣伝が、人々を引きつけ、実際に大ヒット映画となってしまうという類の現象である。

現代の観光旅行者は、旅行業者によってあらかじめ巧妙に作られたプログラムに乗って決められた名所を移動して歩くだけのものになってしまった。ブーアスティンは、かつての旅行者はいろいろな土地に住んでいる人々に出会うために世界を周遊したが、今日では、旅行業者が「旅行している土地から観光客を **E** するために、絶えず新しい能率的な方法を考案している」という。観光客は、観光地の現実に直接触れることはほとんどなく、旅行業者の作る目に見えないカプセルのなかにおいて、そこから外の観光地を見物しているのである。カプセルは観光客の周囲にあるだけでなく、観光客の頭のなかに事前に埋め込まれているステレオタイプ化された観光地のイメージそのものがカプセルであり、そこから外に出られないのである。

確かに、多くの人々のなかに遠い未知の土地への憧れ、退屈な日常生活から一時的にせよ脱出したいという欲望が存在している。旅行

業者やメディアは、そうした漠然とした欲望、憧れを市場化し、ハワイやパリといった観光地への憧れとして形づくる。(4) 人々は、ハワイやパリへ行きたいという期待や願望として観光への願望を持つことになるのである。ここでは、パンフレットやメディアによってあらかじめハワイやパリを知っている。異郷の現実に直接触れるリアルな体験であった旅行は、旅行者や自分がふくらませた観光地のイメージを現地で追認する疑似的な体験になったのである。F、旅行者は、ガイドブックにのっていない料理店を発見する喜びさえ用意している。ブレンドン^{注2}も、「観光 tourism とは、良く知っているものの発見だということである。これに対し、旅行 travel とはよく知られていないものの発見であり、探検とは知られていないものの発見である」といつている。確かに、ブーアスティンの疑似イベント論は、現在の観光旅行の一面を鋭くついているのである。

(出典 有山輝雄『海外観光旅行の誕生』なお問題作成上、一部省略してある)

注1 トマス・クックⅡ近代的な団体旅行を考案したイギリス人旅行者

注2 ブレンドンⅡトマス・クック社の歴史を考察したイギリスの著述家

問1 空欄 A、F に入れるのに、最も適当なものを、それぞれ次の中から一つ選び、番号をマークしなさい。

A ① しかし ② ただし ③ あるいは ④ むしろ

F ① たとえば ② つまり ③ または ④ しかも

問2 空欄 B に入れる言葉を、本文中から抜き出す場合、最も適当なものを、次の中から選び、番号をマークしなさい。

① 日常生活 ② 自己実現 ③ カプセル ④ サービス

問3 空欄 C、D、E に入れるのに、最も適当なものを、それぞれ次の中から一つ選び、番号をマークしなさい。

C ① 具体化 ② 規格化 ③ 現代化 ④ 大衆化

D ① 周知 ② 再現 ③ 吟味 ④ 流布

E ① 隔離 ② 誘導 ③ 募集 ④ 選別

ケ ク キ
シ サ コ

問4 本文中、次の一文が省略されている。(①)～(④)のどこに入れるのが最も適切か、番号をマークしなさい。

ス

彼は、お客が観光にかける大きな期待をふくらませ、それを充たしていったのである。

問5 ——線(1)「当時の社会の趨勢」とはどのような趨勢か。最も適切なものを、次の中から一つ選び、番号をマークしなさい。

セ

① 現代とは違って治安が十分に保たれておらず、そうしたなか異境を旅する旅行者も、行く先々で盗難等の犯罪に遭遇する機会がしだいに多くなっていったという趨勢

② 一九世紀から二〇世紀に移り変わる狭間にあつて、近代的産業が次々と勃興し、さまざまな分野が経済化され、交通も発達して人々の移動が容易になって行くという趨勢

③ 経済の発展にともなつて、それまで人々が個人的に自分のこととして行っていたさまざまな事柄が、しだいにビジネスとして成り立つようになったという趨勢

④ トマス・クックのような旅行者が出現し、雑誌やパンフレットで人々の異境への憧れをかきたて、人々がしだいに異文化を体験するようになって行くという趨勢

問6 ——線(2)「疑似イベント論」の説明として、最も適当なものを、次の中から一つ選び、番号をマークしなさい。

ソ

① 従来の旅行は、人々が自分で計画して主体的に行動するものだったが、それが今では、旅行者に連れられて各地を移動するだけのものになってしまった。

② かつて旅行者はそれぞれの土地の現実に直接触れていたが、現代では、旅行者がいわばカプセルに入れられ、旅行が、安全かつ快適ではあるが新鮮味のないものになっている。

③ 旅行者は、時には退屈な日常生活から抜け出してみたいという人々の願望を巧みに捉え、はるかに遠い未知の土地を人々にリアルに体験させてくれる。

④ 人々は未知の土地に憧れて旅行をするが、現代では、そのような憧れそのものがあらかじめ作られたものであり、旅行者はその既成のイメージを追体験するにすぎない。

問7

本文の内容に合うものを、次の中から一つ選び、番号をマークしなさい。

タ

- ① 観光客は予想外の出来事をあまり喜ばないのが普通だが、当然のことながら、団体旅行で軽減されるはずの旅の苦労や面倒があると、わざわざ団体旅行に参加した意味がなくなってしまうためである。
- ② 旅行者は、地中海のリゾートでは青い海と白い砂浜、ビーチパラソル、またエジプトでは砂漠のなかのピラミッドやらくだなどを体験することになるが、それらはすでに事前に知っていた風景である。
- ③ 旅には面倒や苦労がつきものだが、トマス・クックは旅行のそうした側面をボランティア活動の一環として企業化し、ホテルの手配や現金の持ち歩き、また犯罪等の苦労や危険から旅行者を解放した。
- ④ 一九世紀末から二〇世紀初頭にヨーロッパの一部が繁栄しはじめたが、そのなかで経済的、時間的なゆとりが生まれて消費が拡大し、団体海外観光旅行をサービス産業の中核へと押し上げることになった。

Ⅲ 次の項目と最も関係の深い人物を、それぞれの選択肢の中から選び、番号をマークしなさい。

1 『古事記』

- ① 太安万侶
- ② 舎人親王
- ③ 大伴家持
- ④ 柿本人麻呂

2 『蜻蛉日記』

- ① 清少納言
- ② 藤原道綱母
- ③ 讃岐典侍
- ④ 和泉式部

3 『風姿花伝』

- ① 藤原定家
- ② 小野小町
- ③ 阿仏尼
- ④ 世阿弥

4 『若菜集』

- ① 島崎藤村
- ② 北原白秋
- ③ 宮沢賢治
- ④ 室生犀星

5 『生れ出づる悩み』

- ① 有島武郎
- ② 芥川龍之介
- ③ 宇野浩二
- ④ 佐藤春夫

チ

ツ

テ

ト

ナ

IV 次の空欄 二 八 に入れるのに最も適当な語を、それぞれの選択肢の中から選び、番号をマークしなさい。

1 遠くへ行商に出た父の帰りを 二 の思いで待ちわびる

- ① 一進一退
- ② 一日千秋
- ③ 汗牛充棟
- ④ 青息吐息
- ⑤ 理非曲直

2 宝くじを連番で買って 又 を夢見る人が相変わらず多い

- ① 極楽往生
- ② 不俱戴天
- ③ 一刀両断
- ④ 一攫千金
- ⑤ 立身出世

3 オレオレ詐欺の ネ のみごとな受け答えには驚いた

- ① 頑固一徹
- ② 不要不急
- ③ 本末転倒
- ④ 五里霧中
- ⑤ 当意即妙

4 この会社で無難に生きてゆくためには ノ に徹することだ

- ① 明哲保身
- ② 栄枯盛衰
- ③ 戦々恐々
- ④ 牽強付会
- ⑤ 快刀乱麻

5 はやく年金をもらって ハ の生活に入りたいものだ

- ① 一宿一飯
- ② 熟読玩味
- ③ 日進月歩
- ④ 共存共栄
- ⑤ 悠々自適

2011年度推薦入学選考（11月17日実施）

〈基礎テスト〉

英語分野問題（1ページ～7ページ）

数学分野問題（9ページ～15ページ）

国語分野問題（〈国1〉ページ～〈国10〉ページ）

※国語分野は反対の面から始まっています。

I. 注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、問題用紙を開いてはいけません。
2. 問題は、英語分野1～7ページ、数学分野9～15ページ、国語分野〈国1〉～〈国10〉ページです。どのページも切り離してはいけません。試験時間中に、印刷の不鮮明や落丁・乱丁等に気づいた場合は、手を挙げて知らせてください。
3. 公募制推薦入試〔併願制〕、公募制推薦入試〔専願制〕を受験される方は、英語分野、国語分野、数学分野の3分野のうち2分野を選択して、解答してください。ただし、英語コミュニケーション学科および看護学科は英語分野、日本語日本文学科日本語日本文学コースは国語分野を、必ず選択してください。
4. 特技推薦入試〔書道部門〕、特技推薦入試〔課外活動部門〕、総合学科・専門学科推薦入試を受験される方は、必ず「国語分野」を選択してください。
5. 試験開始までに、監督者の指示にしたがって、解答用紙の所定欄にそれぞれ正しく記入し、マークしてください。
 - ①氏名欄 あなたの氏名・フリガナを記入してください。
 - ②座席番号欄 座席番号を記入し、マークしてください。座席番号の記入のないもの、またはマークのないものは0点となります。
 - ③解答科目欄
※公募制推薦入試〔併願制〕・〔専願制〕は、英語分野・国語分野・数学分野から必ず2分野を選び、解答科目記入欄にマークしてください。解答科目記入欄に2つ正しくマークしていない場合（無マーク、1つマーク、3つマーク）は0点となります。
※特技推薦入試〔書道部門〕・〔課外活動部門〕、総合学科・専門学科推薦入試は、国語分野に必ずマークしてください。国語分野以外にマーク、または複数マークした場合は0点となります。
6. 解答用紙には、HBの黒鉛筆（シャープペンシル可）を使用し、はっきりと丁寧に記入してください。ボールペン、万年筆、サインペンなどを使用してはいけません。また、答えを訂正する場合は、プラスチック製の消しゴムで完全に消してから記入しなおしてください。
7. 解答用紙を折り曲げたり、破ったり、汚すことのないように注意してください。
8. 問題用紙は、試験終了後、持ち帰ってください。

II. 解答上の注意

裏表紙に「マークシート方式の解答に関する注意事項」がありますので、この問題用紙を裏返して、あらかじめよく読んでください。ただし、問題用紙を開いてはいけません。